

外来化学療法 投与計画書

腫瘍内科 パニツムマブ+mFOLFOX6(トレフューザーポンプ)療法アレルギー予防

29-504

ID	:	身長	:	cm	レボホリナート	200mg/m ²				
フリガナ	:	体重	:	kg	オキサリプラチン(炎症性)	85mg/m ²				
患者氏名	:	体表面積	:	m ²	フルオロウラシル(bolus)(炎症性)	400mg/m ²				
		クレアチニン	:	mg/dL	フルオロウラシル(持続)(炎症性)	2400mg/m ²				
生年月日	: S・H・R	年	月	日	生まれ	ベクティビックス(非炎症性)	6mg/kg			
治療計画	外来初回治療日	年	月	日	より	コース目	day	開始	予定コース数	評価コース数
外来担当医:	PHS	記載医師	:	PHS	①	薬剤師	2次監査	①		
インラインフィルターのついたルートを使用										
Rp			投与スケジュール: 1コース14日間		day1	day8				
1本目	主管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		アロキシ(0.75)	0.75mg							
		デカドロン(6.6)	13.2mg							
		デカドロン(1.65)	3.3mg							
		生食	100mL							
投与時間			30分							
2本目	主管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		ベクティビックス	_____mg							
		生食	100mL							
投与時間			1時間							
		(_____年_____月_____日_____%doseへ減量)								
3本目	主管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		生食	100mL							
投与時間			1時間							
4本目	主管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		オキサリプラチン	_____mg							
		5%ブドウ糖液	250mL							
投与時間			4時間							
		(_____年_____月_____日_____%doseへ減量)								
5本目	側管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		レボホリナート	_____mg							
		5%ブドウ糖液	250mL							
			2時間							
		オキサリプラチン投与2時間後に開始								
		(_____年_____月_____日_____%doseへ減量)								
6本目	主管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		フルオロウラシル	_____mg							
		5%ブドウ糖液	100mL							
投与時間			全開							
		(_____年_____月_____日_____%doseへ減量)								
7本目	主管	皮下ポート点滴注射			●	×				
		フルオロウラシル	_____mg							
		生食	全量 140mL							
投与時間			46時間							
		(_____年_____月_____日_____%doseへ減量)								
				<患者退室時の確認事項> <input type="checkbox"/> 固定、クランプ開放の確認 <input type="checkbox"/> 抜針セットを渡す <input type="checkbox"/> 5Fuの終了時間を記入						

1. その他連絡事項

2020年トレフューザーポンプ、皮下ポートに変更
 2017年3月 エルプラット→オキサリプラチンへ変更
 5Fu→フルオロウラシルへ変更
 2016年11月 レイアウト変更
 2016年6月 名称変更
 2014年12月 グラニセトロン→アロキシ
 2013年2月 レジメン番号変更
 2012年2月4日作成